研究テーマ 慢性疼痛モデルマウスを用いた鎮痛薬の薬理学的評価

所属 工学部

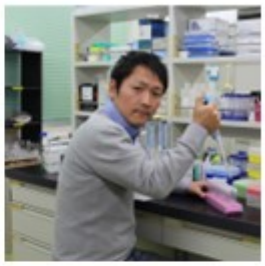
准教授 髙﨑 一朗
https://researchmap.jp/read0131924

研究分野	神経化学・神経薬理学　疼痛学　生物系薬学
キーワード	中枢・末梢神経薬理学,神経創薬,薬理学

研究室URL： http://www3.u-toyama.ac.jp/yakuri/index.html

研究の背景および目的

神経障害性疼痛や偏頭痛に対して，現在のところ副作用が少なく，疼痛に有効な鎮痛薬はほとんどありません。また痛みが続くことにより，QOL が低下し，情動面にも大きな影響をおよぼします。
　当研究室では，主にマウスを用いて，種々の慢性疼痛モデルを作製し，痛みが慢性化するメカニズムの解明と，痛みによる情動変化のメカニズム解明，新しい慢性疼痛治療薬の開発に取り組んでいます。



■主な研究内容



期待される効果・応用分野

・実験動物を用いた行動薬理学的評価「痛い！」と言わないマウスでどのように「痛み」を検出するのか，鎮痛薬をどのように評価するのか？情動の変化をどのように検出するのか？
・疼痛モデルマウスの作製と薬物評価
・行動薬理学，細胞薬理学，分子生物学，遺伝子工学，細胞生物学など様々な研究手法による多方面からの研究アプローチ

■共同研究・特許など

・疼痛動物モデルマウスの作製と薬効の評価
（坐骨神経結紮モデル，帯状疱疹痛・帯状疱疹後神経痛モデル，化学療法誘発神経障害モデル，癌性疼痛モデル，偏頭痛モデルなど）
・ビデオトラッキングシステムを用いた情動行動の検出

富山大学研究者プロファイルPure URL：
https://u-toyama.elsevierpure.com/ja/persons/ichiro-takasaki/